

第21回： 水質予測モデルの基礎と実際Ⅱ

開催日： 1992年10月8日～9日 / 会場： 「千葉工業大学」千葉県

開催趣旨： 水質予測に関する調査・研究の分野では、コンピュータの普及とともにモデルの開発が盛んに行われてきました。近年、海域、湖沼等において、これらのモデルを用いたより効率の良い負荷削減計画の策定が求められ、水質予測の重要性が年々増しております。そこで、水質予測に初めて取り組もうとしている方々ならびに現場実務者を対象に、水質予測モデルの基礎となる微分方程式の取り扱いとコンピュータを用いた計算手法、流れの基礎的な考え方、湖沼、河川、海域のモデルの取り扱い方等、昨年引き続き平易でわかりやすいセミナーを企画いたしました。

講演タイトル（講師／所属（当時））：

- 水質予測手法の基礎編(1)－反応速度の解析と取り扱い（藤江幸一／横浜国立大学）
- 水質予測手法の基礎編(2)－流体の基礎方程式（藤江幸一／横浜国立大学）
- 水環境における流れ解析の基礎－有限要素法を中心として－（樫山和男／中央大学）
- 湖沼生態系モデルの作成（岡田光正／広島大学）
- 河川水質管理のためのモデル（川島博之／農水省農業環境技術研究所）
- 海域モデルの取り扱い方（柿市勝重／三井共同建設コンサルタント）